

前回の作業部会における主な御意見

1. 「大学共同利用機関として備えるべき要件」に係る御意見

・開かれた運営体制の下、各研究分野の研究者コミュニティ全体の意見を取り入れて運営されていること

○従来、「開かれた運営体制」で想定されたのは、日本の研究者コミュニティだったが、海外のコミュニティの意見を取り入れる仕組みもそろそろ考えてもよいのではないか。

○「研究者コミュニティ全体の意見を取り入れて」とあるが、世界的な標準で評価を受けて、研究の方向性や内容が世界標準でもって妥当であると見られていることが、日本を代表する研究機関としてあるべき姿ではないか。

○各研究所が様々なアセスメントを受ける制度（「国際戦略アドバイザー」）を作ったが、各研究所が行う国際的な第三者評価の項目や内容が随分異なるので、共通で使用する、必ずチェックする要点を整備できれば、有効に利用できるのではないか。

・各研究分野に関わる大学や研究者コミュニティ全体を先導し、最先端の研究を行う中核的な学術研究拠点であること

○学術研究自体がしっかりしていないといけなし、その動向をどれだけしっかり把握しているかというのが大事なポイント。

・国際的な学術研究拠点として、各研究分野における我が国の窓口としての機能を果たしていること

○「国際的な学術研究拠点」については、国際共同研究、さらには共著論文の割合等、具体的な指標につながるところまで入れ込んでもいいのではないか。

・個々の大学では整備・運用が困難な最先端の大型装置や貴重な学術データ等の研究資源を保有し、これらを全国的な視点に立って共同利用・共同研究に供していること

○「保有」ではなく「保有・拡充」にしていきたい。

○大学研究者コミュニティ側の課題設定も重要なので、「全国的な研究者コミュニティの視点に立って」にしていきたい。

・時代の要請や学術研究の動向に対応して、新たな学問分野の創出や発展に戦略的に取り組んでいること

○大学共同利用機関法人は、新しい分野を作り、新しいコミュニティを作るような方向性を打ち出していないと、研究の質・量の面でも新たな展開ができないので、重要な視点である。

○一番上に上げてもいいのではないかと。機関自体が研究分野をリードして、若い人もシニアも集まる環境をどう整えていき、制度化していくかという点が問題。

○第6期科学技術基本計画の中で、学術知が果たし得る現代的な役割や、人間中心の未来社会づくりと人文社会科学という大きなテーマを突き付けられたときに、「大学共同利用機関として備えるべき要件」を点検していないと、十分に対応できないのではないかと。

・優れた研究環境を生かした若手研究者の育成に貢献していること

○大学院以上に、博士研究員の受け入れ、送り出しといったキャリアパスをしっかりと認識したうえでの制度といった視点が必要。

○若手研究者をどのように、研究力をつけて就職をさせてという次世代の育成をしていくかというところは、全ての大学共同利用機関として備えるべき1つの若手人材育成の姿。

(その他)

○国立大学法人法施行規則に定められている当該機関の目的に即して研究をしているか、を最初に入れるべきではないかと。

○法令に規定された、最初に出発した際の設置目的・ミッションにふさわしい活動をしているかどうかを点検する必要がある。

○評価の観点として、共同利用・共同研究拠点と大学共同利用機関は共通の部分があるので、その点チェックしたい。

○国際的な研究者による共同利用や産業利用、あるいは、さらに新しい産業につながるようなものの発出まで求められている。要件の中で定義するのは難しい

だろうが、ガイドラインには盛り込む必要がある。

- インターディシプリンな新しい分野を作るという意味は、法人、連合体がやるべき仕事であって、そちらの方の評価に入れるべきではないか。
- ガイドラインでは、具体的になるので、大型施設型とそうでないものを分けて考えたほうが良い。
- 項目にないのは、大学共同利用機関として社会や大学へのアピール。
- 社会と国民からの支持は、税金を使う以上必要なので、項目として入れるべきではないか。
- 2番目と5番目の2点が、これから新たに展開していかなければならない点で非常に重要。

2. 「連合体」組織の在り方に係る御意見

- 「連合体」を設立する1つの大きな目標として、その中の活発な研究交流によって新しい方向性を探していく、学際的な領域を探していくことがあるのではないか。
- 大学共同利用機関が、研究分野をリードして、若い人もシニアも集まる環境を整えるために、「連合体」の議論が起こっているかと思うが、その点をしっかり認識し、制度化していくことが問題。
- インターディシプリンな新しい分野を作るという意味は、法人、「連合体」がやるべき仕事であって、そちらの方の評価に入れるべきではないか。〈再掲〉
- 大学共同利用機関は、総研大だけを優遇するわけにはいかず、大学の研究者、関係者からの信頼を失わない形で「連合体」を設立する必要があるのではないか。